

# EDIUS<sup>®</sup> Elite/Pro 7

EDIT ANYTHING

## リリースノート

Software Version 7.42b20 (2015 年 2 月版)

## 機能追加

- Panasonic AVC-Intra Class 200 ファイルの読み込みに対応しました。

## 更新履歴(7.42.20 修正履歴)

以下の不具合を修正しました。

- ハイレゾ転送中に P2 クリップをプレーヤーにロードすると、転送が完了した際にプレーヤーからクリップがアンロードされない。
- Bin 上でクリップのラウドネスレベルを測定すると EDIUS がフリーズする。
- タイムライン上でクリップが選択されていない状態で In もしくは Out 点を打つと EDIUS が強制終了する。
- リモートデスクトップ接続で EDIUS を操作すると体験版の有効期限が切れた旨のエラーが表示される。

## 更新履歴(7.41.64 修正履歴)

- XDCAM HD42 シーケンスクリップをトリムしてレンダリングするとジャギーが表示される。
- オフラインクリップの復元を実行すると EDIUS がフリーズする。
- 持ち出し編集用のプロジェクトファイルを作成、編集すると保存したプロジェクトファイルが読み込めなくなる。
- MKB-88 for EDIUS コントローラーの RIPPLE MODE キーに「シンクロック(すべてのトラック)の設定/解除」以外の機能を割り当てることができない。
- KONA 3G の HDMI 出力から 1080p 59/50 の出力ができない(EDIUS Pro のみ)
- セグメントエンコードを伴う MPEG2 MXF ファイルのエクスポートを行うと、エクスポートしたファイルの映像にブロックノイズが表示される。
- 特定のエフェクトが適用されたタイムラインを再生すると EDIUS がフリーズする。
- スタビライザーエフェクトをシーケンスクリップに適用すると、スタビライザーの解析エラーが発生する。
- XDCAM エクスポーターのユーザープリセットを作成時、「オーディオフォーマットの変換」オプションの設定状態が保持されない。

## 既知の不具合

### スタビライザーの解析がバックグラウンドジョブとして処理される

- 現象           スタビライザーの解析が常にバックグラウンドジョブとして処理される。
- 回避方法       なし。

### プロキシファイルを通常のクリップとして認識する

- 現象           Bin でクリップを選択、「プロキシを作成」にてプロキシを作成した場合、その素材を別プロジェクトで読み込むとプロキシファイルも通常のクリップとして同時に読み込まれる。
- 回避方法       なし。

### 書き出した XAVC S ファイルの再生が途中で停止する

- 現象           タイムラインを XAVC S ファイルとして出力したものをカメラ等で再生すると、再生が途中で停止することがある。
- 回避方法       XAVC S エクスポーターの画質設定で標準、もしくは高速を選択する。

## 制限事項

### 最近使ったプロジェクトのリストが初期化される

- 現象           EDIUS 7.32 以前から EDIUS 7.40 以降へアップデートすると、最近使ったプロジェクトのリストが初期化される。
- \*リストが初期化されるのは、アップデート後の初回起動時のみです。7.40 から 7.41 へアップデートした場合、この制限事項は適用されません。
- 回避方法       なし。